

会 議 録

会議名称	タウンミーティング（菅原）	記録者	地域整備課 課長補佐
日 時	平成29年12月14日（木）午後7時～午後8時30分		
場 所	菅原会館		
出席者	町 長：町長、教育長、参事兼総務課長、財政課長、企画振興課長、 学校教育課長、健康福祉課長、地域整備課長、会計課長 区長会：菅原区長 町 議：塚本議員 住 民：20人		
会議内容	1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明（参事兼総務課長） 4 町政報告（財政課長、企画振興課長） 5 意見交換 ・小学校・保育所統廃合について（学校教育課長・健康福祉課長） ・下水道使用料について（地域整備課長） 6 フリートーク 7 閉会		

会議結果

【小学校・保育所統廃合について】

●質問

子どもが少ないのはなぜか。
多くの借金があるのをどうやって返済していくのか。

○回答（町長）

少子化については、いろいろな要因があるが、その対応をしっかりやって行きたい。また、子育て環境の充実も図って行きたい。
支出については、これまで以上に無駄のないように行って行きたい。

●質問

データ上、子どもの増加が望めないため、統合せざるを得ない状況であると思える。

選挙公約では、統廃合を見直すということであったが、子どものことを考えると、統合を進めた方が良いと思う。

○回答（町長）

皆さんの意見を聞いて、子どもにとって最良の方策を考え、皆さんにご理解をしていただくようにして行きたいと思っている。

【下水道使用料について】

●質問

若い世帯を増やすために、宝達志水町だけでなく、羽咋市や中能登町といった広域で大規模な宅地造成ができないのか。

○（町長）

各々の市町で宅地造成をしていることから、広域での実施は難しいと思う。

若い方に住んでもらえるように、様々な町の良さを町内外に発信していく。

●質問

下水道料金は、今後、値上げされるのか。

○回答（町長）

下水道料金については、3年毎に見直すこととしており、その時点の状況により料金を設定することとなるが、できるだけ負担が少なる

ようにしていく。

○回答

見直しをかけるということは、料金を検討するということであり、料金を変更するのか、又は据え置くのかを3年毎に実施していく。

●質問

現在、下水道に接続していない家庭が、接続した場合にどれくらいの収入になるのか。

下水道の未接続世帯への対応は、どのようにしているのか。

○回答

未接続世帯が全て加入した場合、約1千万円の収入が増えることとなるが、それでも会計上は苦しいというのが現状である。

未接続世帯への加入促進については、職員が戸別訪問して行っているが、それぞれの世帯事情で難しい部分がある。

●質問

将来を見据えると、ある程度の値上げはやむを得ないと思う。

料金では10円下げるのに、1千万近くのお金がかかるとなっているが、それを捻出するために、ほかの部分に影響が出て、財政を圧迫しないか。

○（町長）

料金を値下げする場合は、他の事業に支障が出てくることとなるが、加入者の方に過大な負担をかけているという面があるので、少しでも負担の軽減を図りたい。

●質問

下水道の未整備地区において管路を敷設していく方式から合併浄化槽方式に替えていくということだが、下水道料金はどうなるのか。

○回答

浄化槽方式の場合は、負担金をいただいて、町で合併浄化槽を設置して、使用料をいただいて、町が維持管理していくこととなる。

合併浄化槽では、電気も使用するが、それは個人負担となるので、集合処理の使用料より若干安い額となる。

●質問

集合処理の下水道になってから河川の水がきれいになったが、合併浄化槽の処理能力は同じくらいか。

○回答

適正に維持管理する合併浄化槽は、処理場と同様な機能があり、きれいな水である。